



一中だより



編集・発行 / 武蔵村山市立第一中学校 〒208-0004 武蔵村山市本町2-76-1 TEL 042-560-1761

夏休みだから・・・

校長 森元 隆之

匙(さじ)なめて 童(わらべ)たのしも 夏氷 山口誓子

暑い夏、熱中症という言葉もなかった時代に、子供たちが楽しそうにかき氷を食べている様子が目に浮かびます。口の中に含ませた後も、スプーンをなめている表情は笑顔そのもの。夏、真っ盛りです。

さて、待ちに待った44日間の夏休みの始まりです。生活のリズムも体調も崩さずに、健康・安全第一で充実した夏休みを過ごしてください。それにしても、「夏休み」はなぜあるのでしょうか。これだけの長い期間、登校して授業を行う(受ける)ことをしないということには、訳がありそうです。

調べる前に、このお題について、みなさんと考えてみたいと思い、一中生に尋ねてみました。

Q:夏休みだからこそできることや挑戦したいことは何ですか？

A:受験勉強・漢字検定資格取得・定期考査のための勉強・苦手分野克服【学習】

部活動(都大会上位)・ギター・ダイエット・習い事・登山・旅行(帰省)・スイカ割り・サーフィン

夏祭り・筋力トレーニング・一気にアニメを見る

【趣味や関心事】

なるほど、一中生の回答のキーワードは「向上・満喫・集中・継続・慎重・徹底」というところでしょうか。

そもそも明治14年(1881年)に「夏期休業日」が公式に定められ夏休みがスタートしました。明確な目的は不明ようですが、考えられることとして、当時の教室には空調設備など無いため、学習への集中力が大きく損なわれる点、欧米の教育制度の影響で日本にも導入されたという点、夏の行事であるお盆やお祭りの経験をさせ、子どもの成長を支える機会にする点、家族旅行や帰省、ボランティア体験など学校では体験できないことを味わうことができる点、教員の研修の機会を確保する点・・・などが挙げられます。

この夏休み、1・2年生は10月の校外学習で訪れる、川越や都内(区部)の歴史や文化に触れてみるのはいかがでしょうか。いわゆる予習です。事前に交通ルートや昼食の場所などに見当をつけておくことは、当日の行動に余裕ができます。また、3年生は、関心のある高校の説明会や見学・体験会に訪れることはもちろんのこと、京都・奈良の修学旅行を成功させるためのヒントを旅行や帰省から得たり、近いところばかり見ていた日常からの脱出の意味で大自然に触れたりするのもよいでしょう。

みなさん、よい夏休みを。

